

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2002-110798(P2002-110798A)

【公開日】平成14年4月12日(2002.4.12)

【出願番号】特願2000-293609(P2000-293609)

【国際特許分類第7版】

H 01 L 21/82

G 06 F 17/50

H 01 L 27/04

H 01 L 21/822

【F I】

H 01 L 21/82 B

G 06 F 17/50 6 5 8 K

G 06 F 17/50 6 5 8 V

H 01 L 21/82 D

H 01 L 27/04 C

H 01 L 27/04 H

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1つまたは複数の論理機能素子と、前記論理機能素子のそれぞれの電源配線と接地配線との間に接続されたコンデンサとからなるコンデンサ付き論理機能素子に対応する機能セルを予め作成し、

前記機能セルを配列してなる回路ブロックを含むことを特徴とする半導体装置。

【請求項2】

請求項1記載の半導体装置であって、

前記コンデンサは、前記コンデンサ付き論理機能素子の最小セル単位の機能セル毎に有することを特徴とする半導体装置。

【請求項3】

1つまたは複数の論理機能素子と、前記論理機能素子のそれぞれの電源配線と接地配線との間に接続されたコンデンサとからなるコンデンサ付き論理機能素子に対応する機能セルを予め作成し、

前記機能セルを半導体基板上に配置することを特徴とする半導体装置のレイアウト方法。

【請求項4】

請求項3記載の半導体装置のレイアウト方法であって、

1つまたは複数の論理機能素子からなるコンデンサ無し論理機能素子の機能セルを作成し、

前記コンデンサ付き論理機能素子の機能セルと、前記コンデンサ無し論理機能素子の機能セルとの電源配線と接地配線との間を同じ幅に統一し、

前記コンデンサ付き論理機能素子の機能セルと、前記コンデンサ無し論理機能素子の機

能セルとを半導体基板上に互いに隣接して配置することを可能としたことを特徴とする半導体装置のレイアウト方法。

【請求項 5】

請求項 4 記載の半導体装置のレイアウト方法であって、

前記コンデンサ付き論理機能素子の機能セルを複数有するマクロセルと、前記コンデンサ無し論理機能素子の機能セルを複数有するマクロセルとを混在して半導体基板上に配置することを特徴とする半導体装置のレイアウト方法。